



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学システム工学部
**第3年次編入学
学生募集要項**

Wakayama University

平成28年度

2016

systems
engineering

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

システム工学部の教育目的とアドミッション・ポリシー

1. 学部の教育目的

工学ではなく「システム工学」という学部名称には、教育対象の複合性・総合性が意識されています。したがって本学部の教育目的としてまず第一に、

- (1) 視野を広く持ち、技術を体系的に理解できる能力を養う

ことをあげなければなりません。

しかし、初めて高等教育を受ける受験生に対して、総合力だけに重点をおくこともできません。よって、

- (2) 専門領域に応じた基礎学力・基礎技術を確実に修得させる

こともまた必要です。すなわち、本学部では専門性にある程度の幅をもたせて科学技術の教育を行うことを目的とします。各学科の構成もこの目的に即しています。

「システム」にはまた応用性を重視するという意味合いも含まれています。

本学部では実学教育を旨とし、

- (3) 産業・社会のニーズに即応できる実践力を養うこと

も目的として掲げています。

これには、知識と技術を実際の製造物に活用できる能力とともに、システムを開発・運用するプロセスに必要なコミュニケーション能力を養うことも含まれます。各学科は、ある程度の幅をもった専門領域のちがいがいによって分かれています。目的レベルにおいては以上述べたことが共通しています。

2. アドミッション・ポリシー

前節で設定した教育目的を実現するため、本学部の受験生に対し、下記のようなアドミッション・ポリシーを掲げています。

- (1) 工学系大学教育にたえるため、理数系の基礎知識と問題解決能力を求める。
- (2) システム工学特有の複合領域の大学教育に適合するよう、論理的思考力と状況判断力、さらに高い倫理感を求める。
- (3) 今日の技術者・研究者に必要な英語力とコミュニケーション力の素養を求める。

情報通信システム学科

1. 学科の教育目的

情報通信システム学科では21世紀の情報社会を支える基盤技術である情報科学と通信技術に関する教育・研究を行います。特に、コンピュータとコミュニケーションを融合した新しいシステム技術を探求し、情報通信分野で幅広く活躍できる人材の育成を目的としています。

このため、情報通信に関する基礎知識やプログラミング技術、問題発見・解決能力、英語の能力、プレゼンテーション能力、技術者倫理の習得をはじめ、幅広い領域の知識を身につけることを教育の目標としています。

2. アドミッション・ポリシー

- (1) 情報通信社会で技術者・研究者として活躍したいと考えている人
- (2) 新しい課題の発見とその解決に努力を惜しまない人
- (3) コンピュータを用いた情報処理技術を身につけたいと考えている人

光メカトロニクス学科

1. 学科の教育目的

21世紀の産業基盤技術である、オプティクス（光工学）・メカニクス（機械工学）・エレクトロニクス（電子工学）を融合させた最先端の光メカトロニクス技術について教育・研究を行います。とくに、要素技術の応用力・統合力を身につけたエンジニアを育てることを教育目的としています。そのために、光メカトロニクスの基礎である要素技術については確実に修得できるよう、講義に加えて演習、実験、実習を組み合わせることに力を入れています。また、4年生の卒業研究では、メカトロニクス計測、センサ・アクチュエータ、光学計測、信号処理、システム制御、ロボティクス、知的メカトロニクスの7つの研究グループで、それぞれ分野横断的なテーマを提供しています。

2. アドミッション・ポリシー

- (1) 好奇心・探求心が旺盛で、自主性・創造性のある人
- (2) チャレンジ精神が旺盛で、何事にも忍耐強く取り組める人
- (3) 物理・数学が好きで、論理的に思考できる人
- (4) もの作りが好きで、自ら分解したり、改造したり、創作する熱意のある人

精密物質学科

1. 学科の教育目的

精密物質学科では21世紀の錬金術ともいえるナノサイエンス・テクノロジーを中心に、物質科学や材料技術に関する広範囲な教育・研究を行っています。物質に関する基本的法則から最先端の知識、様々な実験技術を修得することで、新しい機能材料の創製や新規な高性能デバイスなどの研究開発に携わることのできる、また健全な倫理観を併せもつ技術者・研究者を育成することを教育目的としています。

2. アドミッション・ポリシー

- (1) 実験や研究に意欲があり、新機能材料などの研究・開発を通して社会に貢献したい人
- (2) ナノテクノロジーやナノサイエンスに興味がある人
- (3) 能動的かつ創造的に学ぼうという意欲のある人
- (4) 自己管理能力があり、忍耐強く努力できる人
- (5) 理科系の科目（物理や化学など）が好きな人

環境システム学科

1. 学科の教育目的

これからのエンジニアは自然や他者への配慮をこれまで以上に求められます。それには、自然や人の本質的な理解を基礎として、常に自然と人、人と人の結びつきを想起し、それらのよりよい関係を具現化する情熱と技術が必要です。環境分野のエンジニアの場合は、我々の豊かな暮らしを維持しながら、地球温暖化、生物多様性、ゴミ問題、高齢化社会などの様々な問題を解決していくことが期待されています。本学科では、まち、山林、河川などをフィールドとした実践的な演習を重視したカリキュラムのもとで、国際舞台で活躍できる未来の環境エンジニアの育成を目指しています。

2. アドミッション・ポリシー

- (1) 自然や生きもの、美しい風景、まち並みや建築物、そこに住む人や生活、つまり「環境」のことに学びたい人
- (2) 環境を守る、良くする、維持する理由や方法を学びたい人
- (3) 環境問題の原因や解決法を学びたい人
- (4) みんなが快適に安心して暮らせる社会や環境をつくる方法を学びたい人
- (5) 安全で緑であふれるまちづくり、環境に優しいデザインやものづくりを学びたい人

デザイン情報学科

1. 学科の教育目的

情報を“魅せる”ためにはデザインが、デザインを“創る”ためには情報技術が必要です。本学科では、最新の情報科学とヒューマンサイエンスを学び、情報とデザインの融合による新たな可能性を探求します。豊かな感性と論理的思考能力を備え、デザインと情報の双方の知識を持つ、国際的にも通用する人材を育てます。

2. アドミッション・ポリシー

- (1) デザインと情報処理技術の両方に興味があり、芸術と工学の融合を考えている人
- (2) デザインの素養と最先端の情報技術を身につけた高度新職業人をめざす人
- (3) 好奇心が旺盛で、人間社会に対する深い関心、観察力を持つ人
- (4) 技術を覚え使えるだけでなく、技術そのものを生み出すことをめざす人
- (5) 自分自身で、課題を発見し、その解決方法を模索する意欲のある人

平成28年度 第3年次編入学学生募集要項

高等専門学校、短期大学の卒業生及びそれらと同等以上の学力を有するものと認められた者を対象に、豊かな教養と高度な専門教育を行ない、複合技術に熟達した優秀な技術者を養成するために編入学学生の募集を行ないます。

募集学科及び募集人員

募集学科	募集人員		合計
	推薦編入学入試	一般編入学入試	
情報通信システム学科	10名	10名	20名
光メカトロニクス学科			
精密物質学科			
環境システム学科			
デザイン情報学科			

編入学時期及び編入学年次

編入学の時期は平成28年4月とし、第3年次へ入学するものです。

入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦編入学入試」と「一般編入学入試」の方法で実施します。

「推薦編入学入試」に関する事項は2頁に、「一般編入学入試」に関する事項は3～4頁に、両編入学入試に共通する事項は5～7頁に記載しています。

試験日程等の概要

	推薦編入学入試	一般編入学入試
出願期間	平成27年5月25日(月) ～5月27日(水)	平成27年6月22日(月) ～6月24日(水)
試験日	平成27年6月5日(金)	平成27年7月2日(木)
合格発表	平成27年6月12日(金)	平成27年7月10日(金)
入学確約書提出期限	平成27年6月30日(火)	平成27年9月30日(水)
入学手続期間	平成28年3月下旬(予定)	

推薦編入学入試

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校又は短期大学を平成28年3月に卒業見込みの者で、学業成績が上位に属し、出身学校長又は学長が責任をもって推薦できる者。
 - (2) 合格した場合、入学を確約できる者。
- (注) 1. 重複して他大学への推薦を受けることはできません。
2. 出身学校及び出身大学における所属学科は問いません。

2. 出願期間

平成27年5月25日（月）から5月27日（水）17時まで【必着】

3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類等を総合し、100点満点で評価し判定します。

(1) 入試の実施日時及び場所

日 時：平成27年6月5日（金）13時10分より

場 所：和歌山大学システム工学部

4. 受験上の注意

- ・受験票を必ず持参してください。
- ・受験票に記載する集合時刻を厳守してください。
- ・集合時刻に遅れた場合は、受験を放棄したものとして取り扱うことがあります。

5. 合格発表

平成27年6月12日（金）10時

合格者の受験番号を本学構内の掲示板に掲示するとともに、推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付し、合格者には、合格通知書を郵便で送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学確約書」（合格通知書に同封します）を提出してください。

提出期限：平成27年6月30日（火）17時【必着】

7. その他

推薦編入学入試に出願し不合格となった者は、本学部の一般編入学入試を受験することができます。

なお、本学部の一般編入学入試を受験する場合は、改めてこの募集要項に記載する所定の手続により出願しなければなりません。〔出願期間：平成27年6月22日（月）～6月24日（水）〕

一般編入学入試

1. 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校、短期大学又は大学を卒業した者又は平成28年3月に卒業見込みの者。
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を取得した者又は平成28年3月までに学士の学位を取得する見込みの者。
 - (3) 他の大学に2年以上在学(休学期間を除き、平成28年3月在学見込みを含む)し、62単位以上を修得した者(平成28年3月に修得見込みを含む)。
 - (4) 大学入学資格を有する者で、専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であるもの)を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者。
 - (5) 外国において短期大学又は4年制の大学及びこれらに相当する大学を卒業した者又は平成28年3月までに卒業見込みの者。
 - (6) 大学入学資格を有する者で、外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程をわが国において修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者。
 - (7) 本学において、個別の入学資格審査により、前各号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、20歳に達した者又は平成28年4月1日までに20歳に達する者。
- (注) 1. 出身学校及び出身大学における所属学科は問いません。
2. 出願資格(7)により出願を希望する者は、出願前に予め本学部へ問い合わせてください。

2. 出願期間

平成27年6月22日(月)から6月24日(水)17時まで【必着】

3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類200点、学力検査200点の合計400点満点で評価し判定します。

(1) 入試の実施日時及び場所

日 時：平成27年7月2日(木) ※時刻は、「(3) 学力検査等の実施時刻」を参照。

場 所：和歌山大学システム工学部

(2) 学力検査等の内容

募集学科	科目	備 考
情報通信システム学科	数 学	
	情 報 処 理	・情報・通信工学の基礎に関する問題 ・情報処理に関する簡単な英文の読解 (英和辞書の持ち込み可 ただし、電子辞書は不可)
光メカトロニクス学科	数 学	
	物 理	
精密物質学科	物理又は化学	物理又は化学のどちらか一方を出願時に選択する
環境システム学科	「環境」に関する 論 述 試 験	人と自然が織りなす環境についての論述問題
デザイン情報学科	数 学	
	情 報 処 理	・プログラミングとアルゴリズムに関する基礎的理解を問う問題 ・情報処理技術とデザインとの関わりについての思考力を問う 論述問題 ・上記の分野に関する簡単な英文の読解能力を問う問題 (英和辞書の持ち込み可 ただし、電子辞書は不可)

(3) 学力検査等の実施時刻

募集学科	9:10~10:40 (90分)	11:10~12:40 (90分)	13:40~
情報通信システム学科	数 学	情 報 処 理	面 接
光メカトロニクス学科		物 理	
精密物質学科		物理又は化学	
環境システム学科		「環境」に関する 論 述 試 験	
デザイン情報学科	数 学	情 報 処 理	

4. 受験上の注意

- ・受験票を必ず持参してください。
- ・学力検査の受験には筆記用具が必要です。
- ・筆記試験で遅刻した場合は、試験開始後20分に限り、受験を認めます。
- ・受験票に記載する集合時刻を厳守してください。
- ・集合時刻に遅れた場合は、受験を放棄したものとして取り扱うことがあります。

5. 合格発表

平成27年7月10日（金）10時

合格者の受験番号を本学構内の掲示板に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵便で送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学確約書」（合格通知書に同封します）を提出してください。提出しない者は、本学部に入学の意思がないものとして取り扱います。

提出期限：平成27年9月30日（水）17時【必着】

共 通 事 項

1. 出願方法等

(1) 出願書類等

推 薦 編 入 学 入 試	一 般 編 入 学 入 試
編入学願書 写 真 票 受 験 票	本学部所定用紙に所要事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm。脱帽，上半身無背景のもの）を指定欄に貼付してください。 編入学願書裏面の所定欄に「振込金受付証明書（C票）」を貼付してください。
推 薦 書	本学部所定用紙により，出身学校長又は学長が作成したもの。
志望理由書	本学部所定用紙により，入学志願者が作成したもの。 デザイン情報学科の志願者は，作品又は資料を添付する事ができます。
卒業見込証明書	卒業又は修了（見込）証明書 出身学校長又は学長が発行したもの。（出願資格（2），（3）及び（7）に該当する者を除く。） なお，出願資格（4）に該当する者は，以下のいずれかの書類を添付してください。 （1）修業年限が2年以上で，かつ，修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類。 （2）専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類。
調 査 書	本学部所定用紙により，出身学校長又は学長が作成したもの。
	学位授与（見込）証明書 大学評価・学位授与機構が発行したもの。（出願資格（2）に該当する者のみ）
	在学（在籍）期間証明書 出身大学長が発行したもので，休学期間がある場合は，休学期間の記載があるもの。（出願資格（3）に該当する者のみ）
	最終学校の成績証明書 出身学校長又は学長が発行したもの。
	履修科目の一覧表 現在，履修中の科目がある者のみ必要。ただし，学業成績証明書に記載されている場合は不要。（出願資格（3）に該当する者のみ）
検 定 料 （振込依頼書）	30,000円 所定の用紙「振込依頼書」により金融機関の窓口で振込により納入し，受領した「振込金受付証明書（C票）」（※取扱金融機関の収納印のないものは無効です。必ず確認してください。）を編入学願書裏面の所定欄に貼り付けて提出してください。 （注）出願書類受領後は入学検定料の返還はできません。
封 筒 （受験票交付用）	本学部所定の封筒に，入学志願者の受信場所住所，氏名，郵便番号を明記し，362円切手（速達料含む）を貼付してください。
宛 名 票 （選考結果通知書等送付用）	本学部所定の用紙に，入学志願者の受信場所住所，氏名，郵便番号を明記し，2枚とも提出してください。
	推薦編入学入試に出願し，不合格となった受験者が一般編入学入試に出願する際は，改めて上記の出願書類等を全て提出してください。

(2) 出願方法

入学志願者は、「(1) 出願書類等」に示すものを一括して本学所定の封筒に入れ、所定の期日までに下記の提出先まで持参又は郵送により提出してください。

願書を郵送する場合は、本学所定の封筒により「書留・速達」にて郵送してください。

なお、窓口を持参する場合は、9時から17時の間で受け付けます。

また、推薦編入学入試に出願される場合は、所属の学校から学校長名で一括して「書留・速達」にて郵送してください。その際、一括する封筒は各校で用意し、表面に「システム工学部第3年次編入学（推薦編入学入試）入学願書〇名分在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類の提出先及び問い合わせ先

和歌山大学システム工学部教務係

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-8021（直通）

(4) 出願に際しての注意事項

- ①出願書類に不備のあるときは、受理しません。記入漏れや誤記のないように十分注意してください。
- ②受理した書類及び納付済の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③出願後の志望学科の変更は認めません。
- ④精密物質学科の一般編入学入試の志願者は、受験科目として物理又は化学のいずれかの科目を出願時に選択してください。なお、出願後の受験科目の変更は認めません。
- ⑤身体に障害等を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ本学部へ問い合わせてください。

2. 入学手続

(1) 入学手続きについて

合格者には入学手続きに関する書類を平成28年2月中旬に送付する予定です。

また、入学手続期間は、平成28年3月下旬の予定です。

(2) 入学科料及び授業料

(a) 入学科料 282,000円

(b) 授業料 267,900円〈前期分〉

上記記載の金額は、平成27年度のもので、平成28年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

(注) ①前期分の授業料を入学手続時に納付できない場合は、平成28年4月中に納付してください。
なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

②在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3. 編入学後の単位認定について

既修得単位の認定については、本学部の定めるところにより、当該出身学校のカリキュラム及び修得した科目を考慮して行いますが、場合によっては、認定し得る単位が限定されることがあり、**3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります**ので、履修中の科目はできるだけ多く単位を取得するようにしてください。

なお、修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍の4年を超えることはできません。

4. 入試情報の開示

(1) 志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数

- ・ホームページに開示（ただし、入学者数については次年度確定後）

<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/index.html>

(2) 試験成績（得点・評価）

[開示方法]

- ◇受験者本人からの請求・・・申請書（本学所定）の記入及び受験票の提示により開示
- ◇郵送による請求・・・遠隔地の場合のみ、申請書（本学所定）・受験票（写）を同封の上申請、郵送料本人負担
（詳細については下記問い合わせ先まで）
- ◇開示期間・・・平成27年8月17日から10月14日まで（郵送必着）
窓口直接の場合は、同期間内の月～水曜日（祝祭日を除く）、9時～17時
- ◇開示場所（請求先）・・・システム工学部教務係（下記問い合わせ先）

(3) 調査書（成績評価）

- ・閲覧のみ可（開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。）

【入試情報の開示に関する問い合わせ先】

和歌山大学システム工学部教務係
〒640-8510 和歌山市栄谷930番地
TEL 073-457-8021（直通）

5. その他

- (1) 出願期間の終了後、5日を経過しても受験票等が到着しない場合にはシステム工学部教務係まで問い合わせてください。
- (2) 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願後、「受信場所」に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- (4) 募集要項の請求をする場合は、
 - ・215円分の郵便切手を貼り付けた返信用封筒〔角形2号（33cm×24cm）：表面に受信者の郵便番号、住所、氏名、及び朱書きで「ゆうメール」と明記すること〕
 - ・請求者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、ご請求内容、現在通われている学校名を明記した文書以上の2点を同封のうえ、請求用封筒の表面に「第3年次編入学募集要項請求」と朱書きし、下記の請求先まで送付してください。
- (5) 一般編入学入試の過去問題（過去3年間分のみ）は、システム工学部教務係にて配布しています。入手ご希望の方は、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。
- (6) 出願時のデータや、試験実施結果、入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので、予めご了承願います。なお、これらの個人データを利用する場合も、個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。

【募集要項等の請求先及び編入学に関する問い合わせ先】

和歌山大学システム工学部教務係
〒640-8510 和歌山市栄谷930番地
TEL 073-457-8021（直通）
E-mail kyoumu-kakari@sys.wakayama-u.ac.jp

入 学 案 内

学部・学科の紹介

1995年（平成7年）にスタートした新しい学部です。

システムとつくのは、様々な技術の連携・協調をめざす姿勢を表しています。5つの学科名も、従来の領域の複合による新しい科学技術を創造する目標を掲げるものです。もちろん、連携や複合は基礎技術の確実な修得のうえに展開できるものですから、学部学生を送り出すにあたっては、各学科で卒業時の最低保証能力を明確にしています。その上で、とくに大学院生に対しては、システム工学ならではの視野の広さをもった人材を育成するしくみがあります。地域にある大学として、各学界の新しい技術と地域産業界の要求をつなぐことも大きな使命と考えています。

情報通信システム学科 本学科は、情報科学と通信工学の両分野を融合した独自のカリキュラム構成を特色としています。21世紀は情報通信技術の時代と呼ばれ、インターネット上の新しい技術やサービスが日常生活においても急速に浸透しつつあります。このような最先端の分野で活躍する人材を育成するために、コンピュータの基礎知識、プログラミングの実践技術、情報ネットワークの運用技術、コンピュータグラフィックスの作成技術、人工知能システムの構築技術など、情報通信分野で不可欠な要素技術を基礎から応用まで幅広く学習します。本学科では企業における実務経験者を含む豊富な教員を揃え、個別の学生に目が届く担任制を設けて丁寧に指導を行う体制をとっています。卒業生は、大学院に進学するほか、情報通信産業、情報サービス産業、電子・電気機器産業などにおいて、研究開発、システムエンジニア、プログラマ、製品開発など幅広い職種で活躍しています。

光メカトロニクス学科 本学科では、オプティクス（光工学）・メカニクス（機械工学）・エレクトロニクス（電子工学）を融合させた先端産業基盤技術である光メカトロニクスの教育研究を行っています。光メカトロニクスは、DVDレコーダ、デジタルカメラ、携帯電話など身近にある製品に使われているだけでなく、ロボットや電気自動車など次世代産業への応用が期待されています。このような技術を修得するため、3年生までに光メカトロニクスの基礎である要素技術を講義や実験を通して学び、4年生になると、それまでに獲得した知識や技能を発展・総合させて卒業研究を行います。卒業研究のテーマにはとくに、光メカトロニクスの典型的な応用技術であるロボティクスに関するテーマを数多く提供しています。卒業生は、自動車、電機、光学機器、精密機械などのメーカーや、システム開発、印刷、鉄道など幅広い業種の企業に就職し、研究、開発、設計、生産技術などのエンジニアとして活躍しています。

精密物質学科 物質材料分野において21世紀の産業基盤技術の中核となるナノサイエンス・ナノテクノロジーを対象に、基礎から応用にわたる広範な教育研究を行っています。たとえば優れた性能の光電子材料や新しい機能をもつ無機・有機材料の創製、低公害・高リサイクル性を併せ持つ新素材の開発、それらを利用した新規高機能デバイスの実現など、物質科学・材料技術の拓く可能性は無限に広がっています。本学科では物質科学に興味をもつ学生を対象に物理と化学の両面から深く学べるように教育カリキュラムを組んでおり、3年生までに物質科学の基礎的な知識と実験技術について勉強します。4年生では、ナノサイエンス系またはナノテクノロジー系に属する9つの研究グループに所属し、担当教員のマンツーマンの指導のもとでセミナーと卒業研究を行い、真の応用力・実践力を養います。卒業後は、電機・化学などのメーカーを中心としたさまざまな企業に就職しています。とくに半数以上は大学院に進学した後、より専門的な研究・開発職などに就いて活躍しています。

環境システム学科 環境システム学科では、他大学では見られない枠組み「テクノロジー」「デザイン」「モデリング」の分野・領域から環境に関わる教育、研究を実施しています。環境テクノロジー分野では、水や緑、建築物など自然から人工物まで環境をかたちづくるあらゆるモノ／コトの分析、それらの修復や創造を行うための技術を学びます。環境デザイン分野では、人々の生活と森、水辺、都市、農山漁村、すまいとの関係をあらゆる角度からデザインする教養と技術を身につけます。環境モデリング分野では、水の節約やリサイクルなど人の暮らしや社会が変わることで環境がどう改善されるか、コンピュータなどで予測する技術を学びます。3年次までの講義・演習、4年次からの卒業研究を通じ、各種資格への道が開かれ、卒業生の多くが、環境、建築、土木、造園、情報、サービス系の企業や官公庁で活躍しています。

デザイン情報学科 デザイン情報学科では、理数系の論理的な問題解決能力と人間中心のモノづくり技術を身につけ、社会から求められている、デザインと情報の双方の素養を持った感性豊かなエンジニア、デザイナーを養成します。教育・研究グループは、ウェブ、システム設計、プロダクトデザイン、モバイル、ユビキタスなどを研究するシステムデザイングループと、応用人間工学、音情報処理、CG、映像処理、図形数理、エデュテイメント、空間デザインなどを研究するメディアデザイングループから構成されます。卒業生は、メーカー（自動車、電機、ゲーム、音響など）、システム開発会社、印刷会社など多方面で活躍しており、職種としては、デザイナー（工業、グラフィック、カラー、ユーザインタフェース、ウェブなど）、エンジニア（システム系、人間工学系、ウェブ系など）、企画者など、デザインと情報の双方の知識を活かしながら活躍しています。

学 生 生 活

1. 入学料免除の制度

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料の全額または半額を免除する制度があります。

2. 入学料徴収猶予の制度

経済的理由により入学料を指定期間中に納めることができず、かつ学業優秀と認められる学生について、本人の申請に基づき、選考のうえ平成28年7月末日（入学年度の7月末日が日曜日に当たるときは前々日まで、土曜日に当たるときは前日まで）を限度として入学料の納付を猶予する制度があります。

3. 授業料免除の制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生及び入学料の免除対象と同じ状態にある者（事由の発生時期が、3年次後期分以降は各納期前6か月以内）について、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料の全額または半額を免除する制度があります。

4. 奨学金

(1) 日本学生支援機構の奨学金

(申込資格)

経済的理由により修業に困難があると認められる者。

(奨学生の決定)

本学が人物・健康・学力・家計の申込基準を満たしている奨学金申込者の中から選考のうえ、日本学生支援機構に推薦します。同機構では審査のうえ、採用を決定します。基準を満たしていても、予算の関係で採用されない場合があります。

(奨学金の種類)

〈第一種奨学金（無利子）〉……貸与月額 自宅通学 30,000円, 45,000円から選択
自宅外通学 30,000円, 51,000円から選択

〈第二種奨学金（有利子）〉……貸与月額 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円から選択

(注) 貸与月額については、平成26年度実績であり変更されることがあります。

(2) 地方公共団体等の奨学金

地方公共団体や各種企業団体等が扱っている育英奨学金制度があります。大学に直接募集のないものもありますので、各団体、出身の都道府県に各自問い合わせてください。

(3) 家計急変奨学金

家計急変奨学金は、優れた資質をもちながら、学資負担者等の家計急変により修学を継続することが経済的に困難となった学生で他の経済支援が受けられない者、又は地震・風水害等の被害を受けたことにより、家計が急変し修学の継続が困難となった学生に対して、本学が独自に学費・生活費を援助する制度です。無利子・貸与制で、一時金10万円、20万円、30万円から申請者が選択のうえ、年度を通じて臨時に申請することができます。申請後は、選考のうえ決定となります。

5. 学生傷害保険等

(1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

学研災は、学生が正課中、学校行事中、通学中、大学施設内にいる間及び課外活動中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(注) 本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

(2) 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）【任意加入】

学研賠は、国内外において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復等で、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を補償する制度です。

(3) 学研災付帯学生生活総合保険（学総）【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足と思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

6. 学生寮

本学には、次のとおり学生寮が設置されています。

区 分	所 在 地	定 員	1室定員	新入生入寮可能人員	備 考
学生寮（男子）	和歌山市栄谷930番地 (大学構内)	120人	1人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建
学生寮（女子）		50人	1人	約10人	

寄宿料は、月額4,300円となっています。なお、寄宿料は、和歌山大学学生寮管理運営規則の改正により変更することがあります。寄宿料以外に、寮生活に伴う電気代、ガス代、水道料等の負担があります。

7. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合（073-456-4155）で行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000円です。



電車でのアクセス

新大阪	大阪	なんば	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分	和歌山大学
		天王寺	南海和歌山市	和歌山/バスで約20分	
JR紀伊田辺	JR御坊	南海本線特急で約50分	JR和歌山	和歌山/バスで約30分	和歌山大学
		南海本線特急・急行で約60分	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分	
		JR阪和線快速で約70分	南海和歌山市	和歌山/バスで約20分	
		JR阪和線紀州路快速で約90分	JR和歌山	和歌山/バスで約30分	
		JR特急くろしおで約60分	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分	
			南海和歌山市	和歌山/バスで約20分	
			JR和歌山	和歌山/バスで約30分	
		JR特急くろしおで約45分	JR和歌山	和歌山/バスで約30分	
		JR特急くろしおで約70分			

空港からのアクセス

関西国際空港		和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分	和歌山大学
		南海和歌山市	和歌山/バスで約20分	
		JR和歌山	和歌山/バスで約30分	
伊丹空港	なんば	和歌山大学前	バスで約4分、自転車で約10分、徒歩で約20分	和歌山大学
		南海和歌山市	和歌山/バスで約20分	
		JR和歌山	和歌山/バスで約30分	
		天王寺	JR和歌山	

<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学システム工学部 第3年次編入学学生募集要項

2016

平成28年度

systems engineering